

ほっけもん

232 かさ名人



『はじける笑顔』

10月1日(土)、野方地区で開催された『第34回野方ふれあいふるさとまつり』踊り連パレードでの一枚。

国道269号線沿いを野方小学校児童をはじめ、PTA、分館女性部メンバーで練り歩きました。一生懸命に『野方音頭』を歌い、踊る姿に元気がもらえました。

今月の表紙

薩摩郷白 兼題『風』

突風で 後前舞た アテランス

(唱) はらちよつしもた 恥なればれつ

上窪 小絵

ひよひひよいち 風を呼ばこた 稲脱穀

(唱) 丁度良か風 吹つとが不思議

諸木 小春

予報かい 振り回された 台風騒動

(唱) 雨戸も閉めつ 布団に潜つ

西ノ園 ひらり

凡フライ 風お影で 逆転打

(唱) やったやったち 外野も大騒動

二見 愚楽満

いけな風 吹かつしやるかい 女知事

(唱) お手並み拝見 きばつたもんせ

満石 うらら

夫婦喧嘩 悪も無子供 風当い

(唱) お前が悪い 子供ま蹴られつ

北村 虎王

大崎短歌会 兼題『蜻蛉』

稲田刈る 腰のぼし見る 蜻蛉の群

西陽に映えて 互ひに飛び交ふ

中崎 ハナエ

日本に いる蜻蛉種は 二百と三

今日も夕暮れ 赤とんぼ飛ぶ

長重 悦子

幼き日 イナゴ畑に 蜻蛉捕り

あの日も夕暮れ 早八十路すぎ

坂元 つる子

赤トンボ 朝の庭に 群れて飛ぶ

台風十号 北上続く

穂園 芳江

赤蜻蛉 母の髪の毛で つりし日が

まぼろしのように ぼんやり浮かぶ

児玉 チツ

大崎俳句会

帰省子の 夕飯取りて 語りをり

桑原 正樹

金色の 稲田舞ひたつ 鷺ましろ

宮脇 洋子

原爆忌 空の青さを 仰ぎけり

宮下 のし

思はざる 水菓届きぬ けふ大暑

三浦 倫子

短冊を 替へて風鈴 風を待つ

折田 スズ

他県ナンバー 多きお盆や 村膨れ

坂元 つる子

百日紅 枝もろともに 揺れるさま

春田 昌子

人権啓発シリーズ

HIV感染者等の人権

～病気を正しく理解し、
予防と治療のサポートを～

HIV感染とエイズ

HIVとはエイズを引き起こすウイルスのこと。このHIVに感染することで自身の免疫力が破壊され、本来なら自分の力で抑えられる病気(日和見感染症)を発症するのがエイズです。HIVは感染力が弱いだけではなく、感染経路もごく限られているので予防や対策を講じることができます。また、HIVに感染してもすぐにエイズを発症するわけではなく、多くは数年の未発症期間があります。

治療の理解と支え

発見当初は、治療法がなく、病気の恐ろしさのみが強調されました。そこから生じた誤解から、HIV感染を理由に職場への採用が取り消されたり、解雇されるといった人権侵害が起こったのです。現在では発症を抑えながら通常の社会生活を送れますが、治療には時間や根気がいります。仲間や仕事を失いかねない差別や偏見という不安を抱えることなく、治療に専念できるような周囲の理解とサポートが必要です。